

令和8年度 修士課程 第1期 入学試験問題 【問題1】

(赤字は解答例)

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

(著作権上の理由により公開不可)

(1) 下線部を和訳しなさい。

心理的ストレスは、テイクアウト食品の消費頻度とも正の相関関係がある。一方、憂鬱な気分になるとエネルギー密度が低い食品(果物や野菜など)への欲求や消費が減少する。

(2) 人々の健康における“social capital”の意義について述べなさい。

- ・社会的支援、信頼関係などの対人関係は、心理的ストレスを予防することも、悪化させることもあり、ソーシャルキャピタルはそのような側面を表している。
- ・社会環境の中で得られる社会的支援や知識を有効に活用することで、ソーシャルキャピタルは健康行動の重要な決定要因となりうる。
- ・危機や不確実性の時代においては、ソーシャルキャピタルは個人の健康にとって特に重要になる。
- ・・・など

令和8年度 修士課程 第1期 入学試験問題 【問題2】

(赤字は解答例)

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

(著作権上の理由により公開不可)

(1) 下線部を和訳しなさい。

うま味は日本料理では一般的で馴染みのある味で、世界的には塩味・甘味・苦味・酸味という古典的な4つの味に加え、1908年に日本の科学者によって発見された5番目の味としてよく知られている。

(2) 減塩対策にうま味物質が利用される理由を述べなさい。

うま味物質（グルタミン酸やグルタミン酸ナトリウム、イノシン酸、グアニル酸など）は、塩化ナトリウムと組み合わせることで、風味を増強するため。

(3) Walleceら(2019)の推定について、著者が課題と考えていることを簡潔に述べなさい。

塩分摂取源は各国の食習慣や調理方法に大きく依存している事実から、他の文化圏における集団レベルでの食塩摂取量の削減において、うま味物質の効果はよくわかっていないこと。